

【英語英文学科】

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法	
		内訳	計			
教育学部 共通科目	人文系	—	12	20	◇社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、8単位まで系列に係わらず卒業単位に算入される。 但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位に算入することができる。	
	社会系	4				
	自然系	4				
	数理情報系	—				
	総合系	—				
	体育系	—				
外国語科目	外国語A	基礎	4	26	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、8単位（英語力判定試験で要件を満たす場合は20単位）まで卒業単位に算入される。	
		コミュニ	2			
		語演習	—			
		ツール	—			
	外国語B (英語)	基礎	(12)			
		初級				
中級						
上級						
その他の外国語	—					
専門教育科目 (自学科)	必修科目	1年	14	42	◇英語英文学科設置の全必修科目およびグローバルエデュケーションセンター設置の「General Tutorial English」を配当年次にしたがって履修し、合計42単位を修得すること。	
		2年	12			
		3年	4			
		4年	12			
	選択 必修科目	文学・文化系	6	12	◇英語英文学科設置の選択必修科目を配当年次にしたがって履修し、文学・文化系、言語学・応用言語学系の各系列からそれぞれ6単位、合計12単位を履修すること。	
		言語学・応用 言語学系	6			
	専門 選択科目	文学・文化系	—	24	46	◇英語英文学科設置の専門選択科目から24単位を修得すること。スキル系科目については4単位を算入上限とする。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、22単位まで卒業単位に算入される。
		言語学・応用 言語学系	—			
		スキル系	—			
		留学・インター シップ系	—			
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	8	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計8単位まで卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。		
他箇所 設置科目 ※2	他学部科目	—	8	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、8単位まで卒業単位に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。		
	他大学科目	—				
	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	8			
教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)		—	18	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、18単位まで卒業単位に算入することができる。		
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		96 (108)				

②《卒業所定単位数》	124	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計96（108）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語12単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。
------------	-----	--

※1. 卒業単位に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計12単位 但し、12単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計12単位 但し、12単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計12単位 但し、12単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計12単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入(随意科目)の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	600点以上
TOEFL (iBT)	100点以上
TOEIC	880点以上
実用英語技能検定(英検)	1級

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

専門選択科目について、専門性を高めるために、卒業までに文学・文化系、あるいは言語学・言語学系のいずれかの系列から20単位以上を修得することが望ましいです。

◇ゼミ

「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」(3年必修)・「英米文学語学演習Ⅱ-1、Ⅱ-2」(4年必修)はゼミ科目であり、ゼミごとに「英米文学語学演習Ⅰ-1」は「英米文学語学演習Ⅱ-1」と、また「英米文学語学演習Ⅰ-2」は「英米文学語学演習Ⅱ-2」との合併授業として3・4年次に行われます。「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」のクラスは2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「英米文学語学演習Ⅱ-1」「英米文学語学演習Ⅱ-2」は、「英米文学語学演習Ⅰ-1」「英米文学語学演習Ⅰ-2」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

◇WeTEC と TOEFL ITP 受験について

英語英文学科では、入学時に学部で実施する WeTEC と、毎年春に学科で実施する TOEFL ITP のスコアを次の目的で使用します。

1. WeTEC スコア

以下の科目におけるクラス分け

- (1) 学科1年次必修科目「Introduction to Language and Communication」、「Introduction to Literature and Culture」
- (2) 外国語科目「外国語B」
- (3) グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」(1年必修)

2. TOEFL ITP スコア

1年次秋学期の学科指定日に受験するものは、2年次必修科目「Academic Reading & Writing I、II」のクラス分けと、2年次秋学期に行うゼミの登録に使用します。また、各年次におけるスコアの提出が、ゼミの単位修得の条件となります。

※3年次秋学期のゼミ(「英米文学語学演習Ⅰ-2」)の単位修得には、TOEFL において、学科が指定するスコア以上を取得していることが必須条件となります。TOEFL スコアは、毎年各学年で実施する TOEFL ITP (実験実習費による団体受験) の他、必要に応じて個人の受験のスコアを使用することも可能です。学科指定スコアについては、CourseN@vi の英語英文学科連絡用メニューを通じて毎年学生に周知します。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇留学・インターンシップ

専門選択科目の「Short-Term Study Abroad」と「Overseas Internship」は、学科の審査で適切と認められた場合には、留学センター設置科目以外の短期海外留学やインターンシップと事前・事後指導への参加で各2単位を修得できるものです。事前準備に通常1年程度の時間を要するため、希望者は早めに計画を立て、上記授業の担当教員と連絡を取りながら準備を進めてください。シラバス掲載のスケジュールに従って、留学またはインターンシップの内容を詳細に説明した資料、目的、活動計画を担当教員に持参し、科目登録の許可を得てください。当該科目についても、科目登録期間外の登録はできませんので、余裕をもって準備を進めてください。

◇進学

大学院進学希望者は、大学院入試や入学後の研究上の必要を考慮し外国語科目を履修してください。大学院の課程によっては入試科目として第二外国語が指定される場合もあります。

◇グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」（1年必修）の単位未修得時の対応について

1年次に「General Tutorial English」の単位を修得できなかった場合は以下のいずれかの方法で単位を修得する必要があります。但し、なるべく「General Tutorial English」の単位を修得することが望ましいです。

1. 「General Tutorial English」を再履修する。（聴講料支払期間に聴講料の支払い手続きが必要です。）
2. 以下3科目の内1科目を履修する。（WEBから履修申請する際に科目区分を「1年必修」に変更して申請すること。）
 - ① 「Current Affairs in English」
 - ② 「Developing Skills for Learning English」
 - ③ 「Debate in English」

【英語英文学科】

《卒業要件》

本学科を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	—	12	—	◇社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて20単位まで系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位の算入することができる。
	社会系	4		—	
	自然系	4		—	
	数理情報系	—		—	
	総合系	—		—	
	体育系	—		—	
外国語科目	外国語A	基礎	4	8	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位、「外国語演習I～IV」または「ツールとしての外国語I～V」から2単位の合計8単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて26単位まで卒業単位の算入される。
		コミュニ	2		
		語演習	2		
	外国語B (英語)	基礎	(10)	26	
		初級			
中級					
上級	—	—			
その他の外国語	—	—	—		
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	20	58	◇英語英文学科設置の全必修科目およびグローバルエデュケーションセンター設置の「General Tutorial English」を配当年次にしたがって履修し、合計58単位を修得すること。
		2年	22		
3年		6			
4年		10			
	専門選択科目	—	28	46	◇英語英文学科設置の専門選択科目から28単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて46単位まで卒業単位の算入される。
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	—	8	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計8単位まで卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。
他箇所 設置科目 ※2	他学部科目	—	—	8	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、8単位まで卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。
	他大学科目	—	—		
	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	—	8	
	教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)	—	—	18	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、18単位まで卒業単位の算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計		106	(116)		
②《卒業所定単位数》		124			◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計106(116)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語10単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※1. 卒業単位の算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計10単位 但し、10単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計10単位 但し、10単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計10単位 但し、10単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計10単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入(随意科目)の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	600点以上
TOEFL (iBT)	100点以上
TOEIC	880点以上
実用英語技能検定(英検)	1級

《履修上の注意》

◇ゼミ

「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」(3年必修)・「英米文学語学演習Ⅱ-1、Ⅱ-2」(4年必修)はゼミ科目であり、ゼミごとに「英米文学語学演習Ⅰ-1」は「英米文学語学演習Ⅱ-1」と、また「英米文学語学演習Ⅰ-2」は「英米文学語学演習Ⅱ-2」との合併授業として3・4年次に行われます。「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」のクラスは2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「英米文学語学演習Ⅱ-1」「英米文学語学演習Ⅱ-2」は、「英米文学語学演習Ⅰ-1」「英米文学語学演習Ⅰ-2」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

◇WeTECとTOEFL ITP受験について

英語英文学科では、入学時に学部で実施する WeTEC と、毎年春に学科で実施する TOEFL ITP のスコアを次の目的で使用します。

1. WeTEC スコア

以下の科目におけるクラス分け

(1) 外国語科目「外国語B」

(2) グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」(1年必修)

2. TOEFL ITP スコア

2年次春学期に受験したスコアを2年次秋学期に行うゼミの登録に使用します。また、各年次におけるスコアの提出が、ゼミの単位修得の条件となります。

※4年次秋学期のゼミ(「英米文学語学演習Ⅱ-2」)の単位修得には、TOEFLにおいて、学科が指定するスコア以上を取得していることが求められます。TOEFL スコアは、毎年各学年で実施する TOEFL ITP (実験実習費による団体受験) の他、必要に応じて個人の受験のスコアを使用することも可能です。学科指定スコアについては、CourseN@vi の英語英文学科連絡用メニューを通じて毎年学生に周知します。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇留学・インターンシップ

専門選択科目の「Short-Term Study Abroad」と「Overseas Internship」は、学科の審査で適切と認められた場合には、留学センター設置科目以外の短期海外留学やインターンシップと事前・事後指導への参加で各2単位を修得できるものです。事前準備に通常1年程度の時間を要するため、希望者は早めに計画を立て、上記授業の担当教員と連絡を取りながら準備を進めてください。シラバス掲載のスケジュールに従って、留学またはインターンシップの内容を詳細に説明した資料、目的、活動計画を担当教員に持参し、科目登録の許可を得てください。当該科目についても、科目登録期間外の登録はできませんので、余裕をもって準備を進めてください。

◇進学

大学院進学希望者は、大学院入試や入学後の研究上の必要を考慮し外国語科目を履修してください。大学院の課程によっては入試科目として第二外国語が指定される場合もあります。

◇グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」（1年必修）の単位未修得時の対応について

1年次に「General Tutorial English」の単位を修得できなかった場合は以下のいずれかの方法で単位を修得する必要があります。但し、なるべく「General Tutorial English」の単位を修得することが望ましいです。

1. 「General Tutorial English」を再履修する。（聴講料支払期間に聴講料の支払い手続きが必要です。）
2. 2年次配当科目「英語ディベート」を履修する。

【英語英文学科】

《卒業要件》

本学科を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	—	12	20	◇社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて20単位まで系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位の算入することができる。
	社会系	4			
	自然系	4			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	26	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位、「外国語演習I～IV」または「ツールとしての外国語I～V」から2単位の合計8単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて26単位まで卒業単位の算入される。
		コミュニ	2		
		語演習	2		
	外国語B (英語)	基礎	(10)		
		初級			
		中級			
上級					
その他の外国語	—				
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	20	58	◇英語英文学科設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計58単位を修得すること。
		2年	22		
3年		6			
4年		10			
	専門選択科目	28	46	◇英語英文学科設置の専門選択科目から28単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて46単位まで卒業単位の算入される。	
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	8	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計8単位まで卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。	
他箇所 設置科目 ※2	他学部科目	—	8	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、8単位まで卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。	
	他大学科目	—			
	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	8		
教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)		—	18	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、18単位まで卒業単位の算入することができる。	
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		106 (116)			
②《卒業所定単位数》		124		◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計106(116)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語10単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。	

※1. 卒業単位の算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計10単位 但し、10単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計10単位 但し、10単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計10単位 但し、10単位には「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計10単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入(随意科目)の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験 (ITP・IP) も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	600点以上
TOEFL (iBT)	100点以上
TOEIC	880点以上
実用英語技能検定 (英検)	1級

《履修上の注意》

◇ゼミ

「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」(3年必修)・「英米文学語学演習Ⅱ-1、Ⅱ-2」(4年必修)はゼミ科目であり、ゼミごとに「英米文学語学演習Ⅰ-1」は「英米文学語学演習Ⅱ-1」と、また「英米文学語学演習Ⅰ-2」は「英米文学語学演習Ⅱ-2」との合併授業として3・4年次に行われます。「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」のクラスは2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「英米文学語学演習Ⅱ-1」「英米文学語学演習Ⅱ-2」は、「英米文学語学演習Ⅰ-1」「英米文学語学演習Ⅰ-2」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

◇WeTEC と TOEFL ITP 受験について

英語英文学科では、入学時に学部で実施する WeTEC と、毎年春に学科で実施する TOEFL ITP のスコアを次の目的で使用します。

1. WeTEC スコア

以下の科目におけるクラス分け

(1) 外国語科目「外国語B」

2. TOEFL ITP スコア

2年次春学期に受験したスコアを2年次秋学期に行うゼミの登録に使用します(2013年度入学者のみ)。また、各年次におけるスコアの提出が、ゼミの単位修得の条件となります。

※4年次秋学期のゼミ(「英米文学語学演習Ⅱ-2」)の単位修得には、TOEFLにおいて、学科が指定するスコア以上を取得していることが求められます。TOEFLスコアは、毎年各学年で実施する TOEFL ITP (実験実習費による団体受験) の他、必要に応じて個人の受験のスコアを使用することも可能です。学科指定スコアについては、CourseN@vi の英語英文学科連絡用メニューを通じて毎年学生に周知します。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇留学・インターンシップ

専門選択科目の「Short-Term Study Abroad」と「Overseas Internship」は、学科の審査で適切と認められた場合には、留学センター設置科目以外の短期海外留学やインターンシップと事前・事後指導への参加で各2単位を修得できるものです。事前準備に通常1年程度の時間を要するため、希望者は早めに計画を立て、上記授業の担当教員と連絡を取りながら準備を進めてください。シラバス掲載のスケジュールに従って、留学またはインターンシップの内容を詳細に説明した資料、目的、活動計画を担当教員に持参し、科目登録の許可を得てください。当該科目についても、科目登録期間外の登録はできませんので、余裕をもって準備を進めてください。

◇進学

大学院進学希望者は、大学院入試や入学後の研究上の必要を考慮し外国語科目を履修してください。大学院の課程によっては入試科目として第二外国語が指定される場合もあります。

卒業要件と履修方法

2009～2010年度入学者

【英語英文学科】

科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて履修することは可能です(ただし卒業所定単位数には算入されません)。

科目区分	科目系列	最低単位数		上 限 単位数	履 修 方 法
		内 訳	計		
教育学部 共通科目	人 文 系	—	4	1 2	2 0
	社 会 系	4			
	自 然 系	4			
	数理情報系	—			
	総 合 系	—			
	体 育 系	—			
外国語科目	外国語A	基礎 コミュ	4	8	2 6
		演 I ※	2		
		ツル1 ※			
	他	—			
	外国語B (英語)	基礎 初級	(10)		
中級					
上級					
	その他の外国語	—			
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	2 0	5 8	—
		2年	2 2		
3年		6			
4年		1 0			
	専門選択科目	2 8		4 6	
自由選択科目 (全学部対象科目)		—		8	
教職課程科目 (教職に関する科目のみ)		—		1 8	
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—		8	
(他学部)					
(他大学)					
〔最低単位数 計〕		1 0 6		—	
他に選択し修得する単位数		1 8		—	
《卒業所定単位数》		1 2 4			

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて科目登録を行う。判定されたレベル以上の教育学部設置英語科目、またはそのレベル以上に相当する Tutorial ほか学内の英語関連科目を計 10 単位取得すること。ただし 10 単位には、「上級」が 4 単位以上含まれていること。

② 3 年終了時まで※1に、学部で指定する学外の英語力判定試験において、学部で指定する基準に達していること。ただし、3 年終了時まで※1に学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目を履修すること。

【学部で指定する基準】次のいずれかに該当していること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

A. TOEFL (PBT) 600 点以上 B. TOEFL (iBT) 100 点以上 C. TOEIC 880 点以上 D. 英検 1 級

※1. 2011 年度からは以下の期限までに学部で指定する基準に達していれば、②の要件を満たしたものと認めます。

・3 月卒業の場合：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日

・9 月卒業の場合：卒業年度の大学暦春学期授業終了日

◇他箇所設置科目の外国語科目や自由選択科目への振替方法、教職課程科目の卒業所定単位数への算入方法、他箇所設置科目の履修方法については、学部要項と科目登録の手引きを参照してください。

◇1 年生に対する注意

履修の一例を示すと次のようになりますが、各自の希望にあわせてよく考えて履修してください。

① 教育学部共通科目... 4 単位～8 単位

② 外 国 語 科 目... 《外国語A》4 単位、《外国語B》4 単位

③ 専 門 教 育 科 目... 1 年配当の必修科目 2 0 単位および選択科目の中から 8～1 0 単位

④ 自 由 選 択 科 目... 0～4 単位

(全学部対象科目)

◇ゼミ

「英米文学語学演習Ⅰ－１、Ⅰ－２」（３年必修）・「英米文学語学演習Ⅱ－１、Ⅱ－２」（４年必修）はゼミ科目であり、ゼミごとに「英米文学語学演習Ⅰ－１」は「英米文学語学演習Ⅱ－１」と、また「英米文学語学演習Ⅰ－２」は「英米文学語学演習Ⅱ－２」との合併授業として３・４年次に行われます。「英米文学語学演習Ⅰ－１、Ⅰ－２」のクラスは２年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「英米文学語学演習Ⅱ－１」「英米文学語学演習Ⅱ－２」は、「英米文学語学演習Ⅰ－１」「英米文学語学演習Ⅰ－２」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

◇WeTEC と TOEFL ITP 受験について

英語英文学科では、入学時に学部で実施する WeTEC と、毎年春に学科で実施する TOEFL ITP のスコアを次の目的で使用します。

1. WeTEC スコア

以下の科目におけるクラス分け

(1) 外国語科目「外国語 B」

2. TOEFL ITP スコア

各年次におけるスコアの提出が、ゼミの単位修得の条件となります。

※４年次秋学期のゼミ（「英米文学語学演習Ⅱ－２」）の単位修得には、TOEFL において、学科が指定するスコア以上を取得していることが求められます。TOEFL スコアは、毎年各学年で実施する TOEFL ITP（実験実習費による団体受験）の他、必要に応じて個人の受験のスコアを使用することも可能です。学科指定スコアについては、CourseN@vi の英語英文学科連絡用メニューを通じて毎年学生に周知します。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数 124 単位のうち 84 単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇留学・インターンシップ

専門選択科目の「Short-Term Study Abroad」と「Overseas Internship」は、学科の審査で適切と認められた場合には、留学センター設置科目以外の短期海外留学やインターンシップと事前・事後指導への参加で各 2 単位を修得できるものです。事前準備に通常 1 年程度の時間を要するため、希望者は早めに計画を立て、上記授業の担当教員と連絡を取りながら準備を進めてください。シラバス掲載のスケジュールに従って、留学またはインターンシップの内容を詳細に説明した資料、目的、活動計画を担当教員に持参し、科目登録の許可を得てください。当該科目についても、科目登録期間外の登録はできませんので、余裕をもって準備を進めてください。

◇進学

大学院進学希望者は、大学院入試や入学後の研究上の必要を考慮し外国語科目を履修してください。大学院の課程によっては入試科目として第二外国語が指定される場合もあります。

卒業要件と履修方法

【英語英文学科】

科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて履修することは可能です(ただし卒業所定単位数には算入されません)。

科目区分	科目系列	最低単位数		上 限 単位数	履 修 方 法
		内 訳	計		
教育学部 共通科目	人 文 系	—	4	1 2	2 0
	社 会 系	4			
	自 然 系	4			
	数理情報系	—			
	総 合 系	—			
	体 育 系	—			
外国語科目	外国語 A	基礎	4	1 8	2 6
		コミュ	2		
		演 I	2		
		※ ツール	—		
	外国語 B (英語)	他	—		
		I	4		
		II	4		
III	2				
その他の外国語	—	—	—	—	
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	2 0	5 8	—
		2年	2 2		
		3年	6		
		4年	1 0		
	専門選択科目	—	2 8	3 6	
自由選択科目 (全学部対象科目)		—	—	8	◇科目登録時に算入の申請をおこなった科目に限り8単位までを卒業所定単位数に算入可能。
教職課程科目 (教職に関する科目のみ)		—	—	8	◇科目登録時に算入の申請をおこなった科目に限り8単位までを卒業所定単位数に算入可能。
専門教育科目 (他学科) (他専修) (他学部) (他大学)	専門選択科目	—	—	8	◇他学科他専修科目は卒業所定単位数に算入。ただし、他学部・他大学科目のうち算入の申請をおこなった科目も含め、合計8単位まで卒業所定単位数に算入。 ◇他学部・他大学科目は科目登録時に算入の申請をおこなった科目に限り卒業所定単位数に算入可能。ただし、他学科他専修科目も含め、合計8単位まで卒業所定単位数に算入。
〔最低単位数 計〕		1 1 6	—	—	
他に選択し修得する単位数		8	—	—	
《卒業所定単位数》		1 2 4	—	—	

◇他箇所設置科目の外国語科目や自由選択科目への振替方法、教職課程科目の卒業所定単位数への算入方法、他箇所設置科目の履修方法については、学部要項と科目登録の手引きを参照してください。

◇1年生に対する注意

履修の一例を示すと次のようになりますが、各自の希望にあわせてよく考えて履修してください。

- ① 教育学部共通科目... 4単位～8単位
- ② 外国語科目... 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位
- ③ 専門教育科目... 1年配当の必修科目20単位および選択科目の中から8～10単位
- ④ 自由選択科目... 0～4単位
(全学部対象科目)

◇ゼミ

「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」(3年必修)・「英米文学語学演習Ⅱ-1、Ⅱ-2」(4年必修)はゼミ科目であり、ゼミごとに「英米文学語学演習Ⅰ-1」は「英米文学語学演習Ⅱ-1」と、また「英米文学語学演習Ⅰ-2」は「英米文学語学演習Ⅱ-2」との合併授業として3・4年次に行われます。「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」のクラスは2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「英米文学語学演習Ⅱ-1」「英米文学語学演習Ⅱ-2」は、「英米文学語学演習Ⅰ-1」「英米文学語学演習Ⅰ-2」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

◇WeTEC と TOEFL ITP 受験について

英語英文学科では、入学時に学部で実施する WeTEC と、毎年春に学科で実施する TOEFL ITP のスコアを次の目的で使用します。

1. WeTEC スコア

以下の科目におけるクラス分け

(1) 外国語科目「外国語 B」

2. TOEFL ITP スコア

各年次におけるスコアの提出が、ゼミの単位修得の条件となります。

※4 年次秋学期のゼミ（「英米文学語学演習Ⅱ－2」）の単位修得には、TOEFL において、学科が指定するスコア以上を取得していることが求められます。TOEFL スコアは、毎年各学年で実施する TOEFL ITP（実験実習費による団体受験）の他、必要に応じて個人の受験のスコアを使用することも可能です。学科指定スコアについては、CourseN@vi の英語英文学科連絡用メニューを通じて毎年学生に周知します。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数 124 単位のうち 84 単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇留学・インターンシップ

専門選択科目の「Short-Term Study Abroad」と「Overseas Internship」は、学科の審査で適切と認められた場合には、留学センター設置科目以外の短期海外留学やインターンシップと事前・事後指導への参加で各 2 単位を修得できるものです。事前準備に通常 1 年程度の時間を要するため、希望者は早めに計画を立て、上記授業の担当教員と連絡を取りながら準備を進めてください。シラバス掲載のスケジュールに従って、留学またはインターンシップの内容を詳細に説明した資料、目的、活動計画を担当教員に持参し、科目登録の許可を得てください。当該科目についても、科目登録期間外の登録はできませんので、余裕をもって準備を進めてください。

◇進学

大学院進学希望者は、大学院入試や入学後の研究上の必要を考慮し外国語科目を履修してください。大学院の課程によっては入試科目として第二外国語が指定される場合もあります。